2023年度

一般社団法人

示現会

(通算 NO40) 2023·3·

杨司尼。

8 03-3824-9128 事務所

第76回示現会展に向けて Ŏ 懇親会・審査員について

○<特集>監査報告 展覧会報告

ようやく春らしくなってきました。桜の花がきれいですね。 コロナの制限がだいぶ緩やかになってきました。しかし、井上事 務責任者の言葉にあるように、感染防止等については問題がある と思います。十分に気を付けていきましょう。

及び理事会が開催されまし

月十四日

示現会館にて監

7/(6)

か。判断に任せるということでしょうります。賢明なる国民の個々人の 早めの集荷ですから、気忙しい毎となりました。特に支部の人達は 関連報道も随分少なくなった気が た感があります。 対応については、行政は匙を投げ 日でしょう。コロナの新規感染者の 搬入まで半月から一か月足らず 一月も半ば をすぎ 連日続いていた 第七六回展

ろしくご協力お願いいたします



事務責任者

井上 武

つの展覧会の準期ち、密閉、 です。基本的な三密対策は踏襲し対策の下、粛々と実施するつもりの展覧会開催です。基本的な感染 受けられ ます。 便を強いることになりますが、よ 会員の皆様には、引き続きのご不 す。まだまだ油 くけられないという話も聞きまどが感染し、以前のような医療をしかし一方では、極々身近な人 準備開 断の出来ない中で 催となります 密接を避けつ

た。 令和四年度の監査を実施しま が出席し、監査役立会いの下、 行事などが制限され、 なく終了しました。 合わせて行事など実施してい した。監査結果につい どを検討いたしました。 れ、第七六回示現会展の概要な い有様でした。今後は状況に 引き続き、理事会が開催さ コーナ禍の三年間で示現会の ・長はじめ事務局の役員 非常に厳 ては問題

76回示現会展 ・日程

定時会員総会 3月7日

用品準備 3月19日

3月23日 受付設営

3月24日 業者搬入

3月25日 個人搬入

26日

3月27日 写真撮影

3月28日 理事会

審査鑑別

3月29日 審查鑑別

常務理事会 3月30日

理事会

HP 入選発表

3月30日 賞·昇格者

発表

4月4日 作品陳列

4月5日 開会

表彰式

懇親会

支部長会 4月6日

休館日 4月11日

4月17日 開会

撤去

搬出 4月18日

> 業者搬出 19日

親 会のお知らせ

懇親会は2月28日時点で参加の意思表 示をいただいた方のみで実施いたします。

4月5日(水)10時開場で第76回示現会展が始まりま す。この日は表彰式そして懇親会が開催されます。懇 親会につきましては、会友以上の皆様には、すでに案 内の用紙、及び出欠席の有無を確認する返信用葉書 を2月28日締め切りでお送りしております。

これは、案内にありますように、会場となる上野精養 軒の入場者の人数が決まっておりますので前もって 出欠席の人数を確認いたします。受賞者、及び一般 の入選者につきましては決定次第連絡いたします。や はり人数制限がありますので、人数に達し次第締め 切りさせていただきます。

- ※ 出席の案内を出した後、欠席の場合は早目にそし て必ずご連絡ください。
- 当日の欠席はキャンセル料が発生いたします。ご 了承ください。

審査鑑別について

今年度も会場となる美術館の使用については人 数の制限があり、昨年に引き続き、本部役員によ る審査 鑑別になります。

<審査鑑別にあたるもの>

成田禎介、鈴木實、井上武、中川澄子、 佐藤祐治、錦織重治、宮定眞弓、武 敏夫、 大渕繁樹、石橋俊博、土田恒夫、渡邉良一 徳田則子、小材啓治 大瀧弘子、三杉和子 (以上16名)

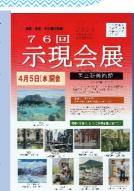
<進行・記録> 委員24名



先日配布したリー フレットに間違い がありました。 お詫びして訂正い たします。

会期中の休館日は 4月11日(火)

コロナ対応のところで 自身の体温より1度以上高い 場合は来場を遠慮する。



特集1

監查終了

総会資料をご覧ください

成田理事長はじめ、大滝、三杉両監査役、事務局員、そして担当する会計士の岡部先生出席のもとで2022年度の事業、会計の監査を行いました。





岡部正義·公認会計士·税理士



大瀧弘子

示現会の定款には監事の役割として会の事業の内容を 把握し業務及び財産の状況を調査することとあります。 示現会は一般社団法人としての保証を受けていますから 正確な会計の収支決算が求められることになります。

2月14日に令和4年度の会計監査が行われました。公認会計士のご協力を得て細部にわたって正確な収支決算がなされてあり、本部および各支部の会計係の方々のご尽力に感謝したいと思います。

総会のお知らせ

2023年度総会は「紙上定時会員総会」として3月7日が開催日とし、この日に集計した書面(葉書)で決議いたします。

示現会館に総会の会場はありません。ご注意ください

会員の皆様におかれましては、議決権行使書面にて議決権の行使 をしていただき、総会の議決を執り行います。

三杉和子

示現会館で 2 月 14 日に 2022年度分会計監査を行った。

石橋会計主任が本部、支部の皆様がまとめてくださった貸借対照表、正味財産増減計算書他、一覧の表示数字を一つ一つ読み上げ、内

容の説明をした。この一覧表を作り上げるまでの本部支部の皆様のご苦労の跡がファイルとして毎年、うず高く積まれ大変な時間を要したことだろうと、丁寧なお仕事に対して感謝の思いである。

75 年続けてこられた示現会の重みを、今の私たちが次へ引き継いでいく覚悟、その土台となる資金面での会費を納入している構成員の納得の行く方向を探らねばならない。今一番の課題なのは年々構成人数が減ってきている事。この示現会展という発表の場がある事で、約 700 人のエネルギーが結集し、また次年も好きな制作が続けられるようにと、自分の生活を律していく事。楽しんで時が過ごせる目標ができる事。

それにはこの会の会場に自分の作品を展示してもらいたいと思 える魅力的な会場にして行く事。

さらに努力していかなければならない。まずは自分の制作と向き合うことだ

古墳をモチーフにした作品の前に立つ小材啓治さん =熊本市中央区





古墳描いた油彩など15点

現代美術館で「小材啓治」展

情に魅力を感じ、実在する古墳 情に魅力を感じ、実在する古墳 が関係の対談が、 15点を展示。 表際がある。 個展には受賞作など を務める。 の文部科学大臣賞などを受賞 の文部科学大臣賞などを受賞 が記点を展示。 表際子さん(で)も を務める。 でに日展の特選や、示現会展 までに日展の特選や、示現会展 までに日展の特選や、示現会展 までに日展の特選や、示現会展

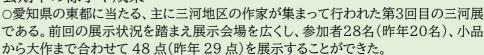
園田琢磨

洋画家の小材啓治さん(75)= 洋画家の小材啓治さん(75)= 学の風土記」展が18日、熊本市中 中区の市現代美術館ギャラリー 中区の市現代美術館ギャラリー 中区の市現代美術館ギャラリー 中区の市現代美術館ギャラリー で始まった。3月5日まで。古 で始まった。3月5日まで。古 で始まった。3月5日まで。古 でがまった。3月5日まで。古 でがまった。3月5日まで。古 でがまった。3月5日まで。古 でがまった。3月5日まで。古 でがまった。3月5日まで。古

を振り返る機会をいただけてあ りこまれるような火口の不気味 のいる古墳」は、 日展特選に選ばれた「馬と兵士 さを表現したかったという。 様などを描いてきた」 を参考にしながら創作を交え文 た顔料 「ベンガラ」 をヒントに うがたい」と小材さん。22日午 た赤みがかった色合いが印象 自分のこれまでの創作活動 」」は、地獄の底に引きず、阿蘇の岩肌を描いた「阿 会場でアーティス 入場無料。 古墳に使われ しと話す。

どちらも大勢の観 本支部長の小 1つは本会 でにぎわいました。 さんの美術館 2つの展 二河展」です。愛知支部の 覧会 理 事 主材催啓 を紹 示 څ 現 の治熊 客 介

会期中の様子や成果



「示現会三河展」

会場の様子

○支部長などから批評や表現指導を受け、今後の課題にすることができた。さらに、一般出品の方に対して作品批評や日頃からの制作への構え、モチーフのとらえ方や構図の工夫などの話し合いができたので、参加者同士が一体感をもつことができ、作品研究の場になった。

入場者の多くは、主に出品者からの案内や、新聞掲載、テレビ放映で知り来館されていた。作者が作品の意図や経過等を入場者に説明し、和やかな雰囲気であった。また、「一つ一つの作品に深みがある〔感想〕」と、作品に魅入られる方も多かった。 ○その他

(1)一般出品者の中から新たに本展へ3名ほど挑戦する方々が出来た。

(2)今年は昨年に増して出品者・作品点数・入場者が増え。賑やかな展覧会となった。来年もまた同時期に同館で開催予定です。さらに出品者数が増えることを期待している。

(3) 具象絵画の魅力を多くの方に知っていただけるよう会の紹介をしていく。また、 一 人でも多く新しい方を誘い入れていきたい。

愛知支部 事務局 杉浦春一



ギャラリートーク「小材啓治展」

示現会のいろいろな案内はホームページに掲載されます。ぜひご覧ください。



示現会三河

展

皆様からのニュースをお待ちしています。 メール先佐藤祐治宛 sato_y_@d6.dion.ne.jp